

[ゲンロク]

GENROQ

2015
JUL No.353
特別定価
980Yen

7

30th Anniversary

SPORTS CARS × JUDGE in FSW

最新鋭スポーツカーを斬る!

フェラーリF12ベルリネッタ & 458スペチアーレ

ランボルギーニ・アヴェンタドールLP700-4

マクラーレン650S × ランボルギーニ・ウラカンLP610-4

ポルシェ911GT3 × ニッサンGT-R NISMO Nur Pac

BMW M4クーペ × レクサスRC F/メルセデスAMG GT S

アストンマーティンV12ヴァンテージS & ヴァンキッシュS

シボレーコルベットZ51/ロータス・エリーゼS

NEW GENERATION

フェラーリ488GTB/ポルシェ911GT3RS

ランボルギーニ・アヴェンタドールLP750-4 SV

ケーニグゼグ・レジェーラ

McLaren SPECIAL

マクラーレンP1 GTR

650S × ニュルアタック/540Cクーペ

CULTURE

レーシング・ポルシェの世界/ラグジュアリー文化論

山本寛斎 × ランボルギーニ・アヴェンタドール

SHOP REPORT **全国版スペシャルショップ**



硬派な国産鍛造ホイールが提供する 大人コーディネート。

HYPER FORGED HF-C10



ベースグレードのV8モデルながらW12のマフラーカッターやカーボンエクステリアパッケージなどの導入でさりげなく高級感を出した。純正っぽく仕上げるように配慮したとか。



ベントレー・コンチネンタルGTの温かみのある柔らかなフォルムの中で、異彩を放つかのごとくホイールが輝いている。黒づくめの個体ということが幸いして、まるで夜空に浮かぶ満開の花火のようだ。

ホイールの正体は、国産鍛造技術をバックボーンに、今や世界で活躍をみせるハイパーフォージドだ。銘柄はHF-C10である。最近、密かに注目を集める「ベントレー×ハイパー」のコーディネートで、長らく推し進めてきたカスタマー、ECスペックがまとめた1台である。

大柄なクーペボディに負けじとサイズは前後とも22インチを合わせた。フロント9.5J、リヤは11.5Jという仕様だ。最大で14.0Jまで用意されるリムサイズの豊富さが手伝って、この辺りのフィッティングに妥協は必要ない。

印象を決定付ける大きな要素であるディスク面の仕上げは、ブラッシュドサイドポリッシュと呼ばれるもの。基本がブラッシュドで、サイド面にポリッシュが施される。普遍的な

落ち着いた持つシルバー系なのに、じっくり見ていくと、そこに絶妙な立体感が生まれるから不思議である。リムはポリッシュ仕上げとなり、まるで宝石のような輝きを手に入れた。

落ち着いた装いで大人っぽさを感じるのには、絶妙な塩梅でコーディネートされたHF-C10の効果が大きい。車体側もまた、カーボンエクステリアパッケージやW12型12気筒モデル用のマフラーカッターなど、ツボを抑えたカスタマイズを投入している。総じて、作り手側が狙った「大人コーディネートのベントレー」を見事に成功させているように思う。

それにしても世界に名だたるスーパースポーツから、今回のような最高峰のグランツーリスモ、あるいはよりミドル系の車種まで、ハイパーフォージドの守備範囲はとても広いということを感じさせられる。それはサイズ展開の豊富さや、仕上げやカラーリングに対する柔軟性、という意味だけではない。どの銘柄を取ってみても、実はとてもシンプルな姿形を持っていて、流行り廃りを超越したようなデザイン的な魅力が宿るからだと感じる。ストレートな10本スポークを持つHF-C10のような銘柄なら、その感覚はおおさら強くなる。

ともあれ、酸いも甘いも噛み分けたベントレーユーザーなら、ハイパーフォージドが提供するその魅力、しっかりと心に届くはずである。

装着されるホイールはHF-C10。フロント9.5J、リヤ11.5Jの22インチとなる。組み合わせられるタイヤはそれぞれ265/30、315/25で、銘柄はピレリP ZERO NERO GTとなる。

PARTS LIST

サイズ設定:7.5J×19～14.0J×22

19インチ	12万1000円～
20インチ	13万1000円～
21インチ	16万5000円～
22インチ	21万8000円～

※ 価格は税別

